

## 令和7年度「横浜市の河川水辺環境に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

### 1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q14で、河川水辺環境の清掃・保全活動に参加した経験がない方に「今後、河川水辺環境の清掃・保全活動に関わってみたいと思いますか。」と質問したところ、「ア ぜひ関わりたい」「イ 機会があれば関わりたい」と回答した方が、61.1%となり、多くの方が高い関心を持っていることが分かりました。今後は、水辺愛護会をはじめとした様々な活動をより多くの皆様に知っていただけるよう、SNSを活用した情報発信など、様々な方法で広報を実施していきます。

### 2 アンケートを実施した感想

Q6「親水拠点、小川アメニティ、せせらぎ緑道を利用する目的を教えてください。」では、85.4%の方が「ア 散歩・散策」と回答され、最も多い回答となりました。これにより、親水拠点等が日常的に皆さまの暮らしの一部として親しまれていることが分かりました。また、Q15「横浜市内の河川水辺環境に対して、今後期待することや要望がありましたら教えてください。（自由意見）」に対しては、「今後も安全できれいな環境の維持に努めてください。」や「子どもの教育にもよいのでうまく利用できればいいと思います」など、河川水辺環境に関する様々なご意見・ご期待をいただきました。

いただいたご意見は、今後の取組を進めていく上での参考とさせていただきます。

### 3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございました。  
自由記載欄も含め、貴重なご意見をお寄せいただき、大変参考になりました。  
今回いただいたご意見等を踏まえ、良好な河川水辺環境の保全・創出を図っていきます。

担当：下水道河川局河川流域調整課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。